

東京都立武蔵高等学校
同窓会事務所
〒180-0022
武蔵野市境1-3-4
エーブル武蔵境203
Tel & Fax 0422-27-7571



52

2017. 5.10



テレビアニメーション「母をたずねて三千里」の主人公マルコ
(キャラクターデザインのデッサンから) 小田部羊一 昭和30年卒 7回生E組

今年のホームカミングディは29回生&49回生

今年の同窓会総会・懇親会

日時：2017年6月4日(日)
受付開始12時30分 総会13時30分より
場所：武蔵野スイングホール(武蔵境駅北口より徒歩2分)
アトラクション：野口いづみさん講演会
懇親会：15時30分から レインボーサロン
会費：一般会員 3,000円
学生会員 1,000円
新卒会員 無料
出欠：ご出席の方は、同封のハガキでお知らせください。

平成28年度卒業生 同窓会新幹事



同窓会ニューヨーク支部を作りたいと女性の発言

東京都立武蔵高等学校同窓会会長 土屋 正忠



武蔵同窓会70周年記念総会を昨年6月に吉祥寺の東急REIホテルで開催したところ、400名超の参加者で大盛況でした。ホームカミングデイの28回生と48回生が大勢参加。とりわけ卒業20年の30代の若手の熱気で、パーティーはおしゃべりの渦で圧倒されました。

同窓会総会では母校武蔵が中高一貫となり卒業生が8クラス320名から5クラス200名になったことで、同窓会財政が苦しくなったとの報告には「会費を上げたら」との積極提案。また、インド・韓国など海外在住同窓生が総会に合わせて多数帰国参加し、ニューヨークから参加した女性会員は「同窓会ニューヨーク支部を作れ」と元気、元気。私は「貴女を支部長に任命します」と口答辞令。清水立川市長や石川都議会議員等も参加。

記念講演は、慶応大学やサントリーのラグビーで大活躍した、浜本剛志さん(27回F組)。ユーモアを交えて、生き生きとワールドカップで南アを破った日本ラグビー「サムライジャパン」を語った。

武蔵創立74年、同窓会結成70年、伝統を重ね多士済々の人材の厚みを実感しました。同窓会の役割は、同窓生のネットワーク作りと現役の支援です。この二大目標を掲げて、今年もしっかりと活動を進めます。

6月4日(日)の同窓会総会でお目にかかりましょう。

今年の同窓会は6月4日 仲間を誘って、武蔵野スイングホールへ集合！

今年の同窓会総会・懇親会は、武蔵野スイングホール・レインボーサロンで開催いたします。

昨年、創立70周年記念総会を無事に終え、同窓会はずぎの10年に向けてスタートを切ります。公式ホームページの定着やfacebook等のSNSの活用によって若い世代の総会・懇親会への参加は着実に増加しています。これに力を得て同窓会としても、さらなる活性化の方策を考えているところです。

今年の総会では、2016年度事業報告・決算報告、2017年度事業計画・予算案に加えて、2年に一度の役員改選など、重要な議案が審議されます。多くの同窓生の参加をお願いいたします。

例年、会員のみなさまに喜んでいただいている総会後のアトラクションは、野口いづみさん(19回F組)による講演を企画いたしました。詳しくは次ページをご覧ください。

また今年は、29回生(昭和52年卒)、49回生(平成9年卒)のホームカミングデイが開催されます。それぞれ卒業40年、20年の節目の年にあたります。多くの同期生が懐かしい顔に出会えるよう、ふるってご参加ください。

今年のアトラクション

日本登山医学会理事 野口いづみさんによる講演

「写真とトークで学べる山の病気とケガ」



武蔵高校時代は山岳部に入り、大菩薩や奥多摩、南アルプスなどを駆け回りました。大人になってからは(?)、タンザニア、ロシア、パプアニューギニア、中国、イラン、マレーシア、南米、スイスなどに海外遠征し、キリマンジャロ、マッターホルン、モンブラン、ワスカランなどに登りました。最近は国内登山を楽しんでいます。2年前には沢登りで遭難もどきを起こし(?)、「年々過激になる」と評する人もいます。3年前に常勤職をリタイアし、山三昧の生活を送るつもりでしたが、山の医療についての本、「山の病気とケガ」、「山登りトラブル回避&対処マニュアル」を出版したり、講演に駆り出されたり、NHKで釈由美子さんにテーピングの方法を教えたりで、なかなか時間が取れません。今回、山の写真をお見せしながら、日常でも役立つ山の病気とケガの応急処置をご紹介しますと思います。

19回F組 野口いづみ

2016年度 同窓会総会・懇親会報告 (同窓会創立70周年記念)

2016年6月26日、吉祥寺の東急REIホテルを会場に2016年度同窓会総会・懇親会が開催されました。

総会は、議長に選出された[]の進行で、15年度事業報告・会計報告、16年度事業計画・予算案などが審議され、貴重な意見をいただきながら承認、可決されました。その後、永年にわたり副会長・経理を務めてこられた[]に感謝状が贈られました。

つぎにアトラクションとして、関東ラグビーフットボール協会副会長の浜本剛志さん(27回F組)による講演会が催されました。高校でのラグビーとの出会いから、慶応大学・サントリーでも選手生活を続けるに至ったラグビーとの不思議な縁をはじめ数々のエピソードを、軽妙な語り口で聞かせて下さいました。2015年ワールドカップで沸騰したラグビー人気を背景に、時流にのった好企画だったと思います。

さて、懇親会には28回生・48回生がホームカミングデイで多数参加して、同窓会創立70周年を大いに盛り上げてくれました。総参加者数は411名、会場内は肩がぶつかるほどの混雑ぶり、ロビーにまでテーブルを出して食事するありさまで、70周年記念にふさわしい盛会となりました。散会後のホテル内外で若い世代が名残を惜しみつつ立ち話をする姿もまた印象的でした。



会場に入りきれずロビーにまであふれる参加者

お元気ですか 教員・会員の消息

28回生ホームカミングデイ報告

28回生のホームカミングデイ開催日が近づく中、高校時代に片思いに終わった「彼女」は参加するだろうか、「彼女」に会いたい気持ちと、「彼女」に昔の面影がなかったら会いたくない？という気持ち(私の勝手な思いだけど…)が私の心の中で葛藤していた。

そして同窓会の当日、正午前から受付が始まり、28回生も集まり始めた。受付を担当しているうちに、ふと顔を上げると、その視

線の先に、「彼女」が友だちと受付のあるロビーに現れた。ああ、今日参加してよかったと、心の中がジュワ

ーっと満たされる思いだった。「彼女」は、高校時代と面影が変わっていないのである。懇親会にて勇気を出して「彼女」に話しかけたら、私を覚えていてくれた。そして、お願いしたら一緒に写真



をとらせてくれ、別れ際にお元気でと声をかけたら、ニコッと笑顔で答えてくれた。本当に会えてよかった。

29回生(昭和52年3月卒)

ホームカミングデイへのお誘い

卒業から早や40年の歳月となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、毎年の都立武蔵高校同窓会では、総会の後の第二部「懇親会」の中で、卒業40年目と20年目の卒業生を対象に「同期の人たちが集まりましょう」という趣旨で『ホームカミングデイ』を開催しています。今年は私たち29回生(昭和52年3月卒業)と49回生(平成9年3月卒業)が対象となっています。この機会に多くの29回生が集い、仲間たちとの再会の場にしましょう。そして、また旧交を温めようではありませんか。

29回生世話人有志一同

追悼 兵頭信彦先生



兵頭信彦先生が平成29年1月22日に逝去されました。享年93歳。

武蔵高校では世界史を教えられ、6D・9A・13G・18Dの担任を務められたとのこと。その後武蔵を離れ、昭和59年3月に都立西高等学校長を最後に教職を退かれましたが、この間も退職後もずっとクラス・同期会、総会にご出席下さり、武蔵高校への愛着心をお持ちでした。また、小金井市の雑学大学の講座で、長年西洋史を教えられ、体調を崩される直前の昨年11月まで講義されていたそうです。ご冥福をお祈り申し上げます。

北川編集長、お世話になりました。



永らく企画広報部部長として活躍してまいりました北川洋氏(11回C組)が、本年2月18日に逝去されました。

出版関係の仕事をしてきた北川さんは同窓会報がカラー印刷になった28号(1993年)以来、編集長として会報の刊行を支えてこられました。山岳部の古参OBでもあり、はっきりした物言いと明るい笑顔での雰囲気づくりが巧みでした。総会の司会も上手でしたね。長い間お世話になりました。

昨年末、本号編集について最後の指示を受けました。ノウハウをうまく継承できてはいませんが部員一同頑張っています。

クラス・同期会・クラブOB会だより

19回I組 クラス会報告

我々のクラスは、昭和42年卒業である。卒業後、2-3年ごとにクラス会を開いてきたが、今年は、卒業50周年を記念して、会合の前に母校見学をさせていただいた。2月18日、武蔵境駅に10時半に集合し、学校まで歩いた。昔は、校歌に「林を出でて、林に入り」という歌詞があるように、一応、武蔵野の林の面影があったように思うが、いまは、すっかり東京の街になってしまった。

前もって見学をお願いしていたので、副校長先生が迎えてくださり、校内を案内してくださった。私たちが学んだかつての木造校舎はなく、いろいろ工夫を凝らした機能的で、美しい鉄筋コンクリートの校舎に様変わりしていた。見学最後には、校長先生も挨拶に出てこられ、一同、母校の丁寧なご接待に、感謝した。

校門の外で記念写真を撮った後、バス通り(武蔵境通り)沿いのイタリアン・レストランUNO's kitchenで会食をした。この時間帯は私たちのグループの貸し切りで、若いシェフが腕をふるってくれた料理をいただきながら、歓談した。



50年経っており、お互いにすっかり老人になってしまっているが、直ぐにタイムスリップして、昔の感覚に戻るのが不思議である。

特にプログラムというものはなかったが、毎回しているように参加者一人一人が、近況を述べる時間があつた。みな、簡潔なスピーチしかないが、それでも、現在の生活・心境が窺われて興味深かった。特に、男性の方は、必ずしも生計のためではなく、自治会、マンション管理組合等、社会奉仕もあり、公共世界に対して責任を負う姿勢は、やはり団塊の世代だな、と思わされた。

予定していた三時間があつという間にすぎた。二年後の再会を期し、それまで、それぞれ、豊かな人生を送れるように願って散会した。

(本項は同窓会ホームページ掲載の記事を要約して再録したものです)

24回生 5回目の同期会開催

同窓会創立50周年記念パーティ(1996年)でたまたま顔を合わせた同期生数人が同期会をやってみようと言って、1998年に第1回が実現、2002年の第2回、そして2006年に第3回と、ワールドカップサッカーに合わせて4年ごとに開催した。しかし卒業40周年ホームカミングデイは2012年、そこで第4回同期会はオリンピックイヤーに乗り換えることになった。



その後アツという間に還暦を過ぎ、もう同期会でもあるまいと思っていた。ところが昨年の有志新年会で、またやろうよの声。小遣いは減ってもヒマはできたのである。じゃあ最後の1回をやるかと11月5日に第5回開催の運びとなった。15歳の春から50年近く経つのにいまだに100人超が参加、初めての人もいた。今回出られなかった常連は、もう一度やると言う。次やるとしたら2020年だが、積立残金は同窓会に寄付してしまったし、さあ、どうします？

(匿名希望幹事)

2016年度 創立70周年 同窓会総会・懇親会写真集



受付には続々と会員が……



総会で議案の審議



総会会場で発言する会員



28回生・48回生ホームカミングディの展示



懇親会の乾杯を待つ大勢の参加者



談笑する講演者の浜本剛志氏(右から二人目)



28回生幹事のみなさんと担任の先生方



土屋会長・一柳副会長の指揮で校歌斉唱

表紙によせて

作者紹介 小田部羊一さん(7E) アニメーター／作画監督／キャラクター・デザイナー



「母をたずねて三千里」は、フジテレビ系の世界名作劇場枠で1976年1月から12月まで、全52話で放送されたアニメーションです。

小田部羊一さんはこの物語のアニメーション化にあたり、主人公マルコ、マルコのお母さんをはじめ、100を超えるキャラクターのデザインをされました。「マルコ」の前には、「アルプスの少女ハイジ」もアニメーション化されています。宮崎駿監督や高畑勲監督とも一緒に仕事をしてこれ、これらの作品は、日本及び世界アニメーション史上一つの転換点と評価されています。

文責

略歴

東京藝術大学美術学部日本画科卒業後、東映動画へ入社。長編『わんぱく王子の大蛇退治』『長靴をはいた猫』などでアニメーション原画を担当。『空飛ぶゆうれい船』では初の作画監督。東映動画を辞し、他社で『パンダコパンダ』や『赤胴鈴之助』の作画監督として活躍後、『アルプスの少女ハイジ』『母をたずねて三千里』で、キャラクター・デザインを担当。『風の谷のナウシカ』『火垂るの墓』に重要なシーンの原画を提供するなど、アニメーション史に残る名作にその名を刻む。また任天堂に入社。『スーパーマリオブラザーズ』『ポケットモンスター』シリーズなどのデザインを監修。現在、日本アニメーション文化財団理事など多数の役職を務めながら講演や後身の指導、展覧会などで活躍中。2015年度には「文化庁メディア芸術祭功劳賞」を受賞

平成29年度 武蔵高等学校・附属中学校 異動者名簿

卒業生総数 25,456名 住所不明者・物故者 8,977名